



7 3  
6628  
17





地方元成錄卷之十六



部

上

從元祿十七年迄寶政七年  
九百三十一條



門 7.3  
號 6628  
卷 17

早稻田大學圖書館  
昭和28.2.23  
藏書

地方元成録卷之十六

元禄五年

○ 大正二初田上作爲取中書付

一 臣布くたをこ目物 御有及名初上高橋は連と云た  
と云ふ邊出の東の國羊うたをこ初ら女國羊出  
他事らひ事か初 御事ら初 御事ら初 御事ら初  
二 而く其書内事於うて云る由事との也

十月

元禄五年

○ 猪原荒ゆりて田邊法光寺に書付

一 猪原極多山田畑荒人馬も成らひ多し及て自田  
法光の寺に書付

一 附録付 皇史付有 御事ら初 御事ら初 御事ら初  
田邊法光寺に書付 御事ら初 御事ら初 御事ら初  
地内法光寺に書付

一 猪原法光寺に書付 御事ら初 御事ら初 御事ら初  
御事ら初 御事ら初 御事ら初 御事ら初

一 高安法光寺に書付 御事ら初 御事ら初 御事ら初  
御事ら初 御事ら初 御事ら初 御事ら初







































































種の内、或は任官、或は服従、或は奉命、或は  
の言、或は或の言、或は或の言、或は或の言、  
人、或は或の言、或は或の言、或は或の言、  
少、或は或の言、或は或の言、或は或の言、  
右、或は或の言、或は或の言、或は或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、

一、或は或の言、或は或の言、或は或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、

一、或は或の言、或は或の言、或は或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、

或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、

月

○ 國の事

一、或は或の言、或は或の言、或は或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、

九月

○ 國の事

一、或は或の言、或は或の言、或は或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、  
或、或の言、或の言、或の言、































此後有種... 八教... 寺院...

○寺院...

寺院... 寺院... 寺院...

○新創...

新創... 新創... 新創...

○寺院...

○寺院...

寺院... 寺院... 寺院...

○寺院...

寺院... 寺院... 寺院...







此の如くは人々を以て國に治すに當りて  
爲るべき事は連日事ありて人々を以て治すに  
可なり

右の如くは事ありて人々を以て治すに當りて  
爲るべき事は連日事ありて人々を以て治すに  
可なり

右の如くは事ありて人々を以て治すに當りて  
爲るべき事は連日事ありて人々を以て治すに  
可なり

○四年 朝鮮入南の事ありて人々を以て治すに當りて

朝鮮入南の事ありて人々を以て治すに當りて  
爲るべき事は連日事ありて人々を以て治すに  
可なり

重宝の

○五年 仙臺通國の事ありて人々を以て治すに當りて

仙臺通國の事ありて人々を以て治すに當りて  
爲るべき事は連日事ありて人々を以て治すに  
可なり

○六年 如令世令通用の事ありて人々を以て治すに當りて

如令世令通用の事ありて人々を以て治すに當りて  
爲るべき事は連日事ありて人々を以て治すに  
可なり

○七年 大坂藩家治の事ありて人々を以て治すに當りて

大坂藩家治の事ありて人々を以て治すに當りて  
爲るべき事は連日事ありて人々を以て治すに  
可なり



























○ 國米の向付の事

一 國米の向付は元來之様にして其國米の向付  
一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事  
一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事

一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事  
一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事

一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事  
一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事

一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事  
一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事

一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事  
一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事

一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事  
一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事

一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事  
一 向付の事 向付の事 向付の事 向付の事

○ 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事

一 諸國國米の向付の事 諸國國米の向付の事







奉り申上り候事申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事

○南の儀に付申候

一 近年南の儀に付申候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事

○朝解持人參候事

朝解持人參候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事

南の儀に付申候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事

○野州町久保河原の儀に付申候事

野州町久保河原の儀に付申候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事

○寺屋軒取込事

寺屋軒取込事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事

○在方官舎田原の若由村の儀に付申候事

在方官舎田原の若由村の儀に付申候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事  
申上り申すに感念申し上り候事































Blank page with a faint rectangular border.

Vertical text on the left side of the page, possibly bleed-through from the reverse side.



